

Comment

First evidence of bacterial translocation from the intestinal tract as a route of *Helicobacter cinaedi* bacteremia

Helicobacter 23: e12458

H.cinaedi 菌血症の感染経路として、消化管から血液への細菌の侵入が起こっているであろうことは、以前から予測されていた。本研究は細菌の遺伝子の解析からこの感染経路を証明した最初の研究といえる。また、本研究の対象となった患者の多くが免疫抑制状態にあったことから、消化管から血液への *H.cinaedi* の侵入において、宿主の免疫抑制が重要であることがわかる。しかし、消化管内には *H.cinaedi* 以外にも多くの腸内細菌が生息しており、免疫が抑制された際にこれらの菌も同様に血液に侵入すれば菌血症を起こすはずである。しかし、腸内細菌による菌血症は極めてまれである。つまり、*H.cinaedi* の血液への侵入という現象において、宿主側の免疫抑制のみに原因を求めるのには無理があり、*H.cinaedi* の側にも免疫をすり抜けるための特殊な能力があると考えなくてはならないだろう。これについては今後の研究が必要である。

(北里大学医学部微生物学 林 俊治)
